

ISSN 0385-7476
SSK

143
1996
May

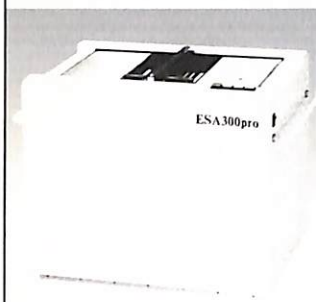


その研究と情報

- 1 特集◎
点字情報ネットワークの新たな発展へ 加藤俊和
- 10 ルポ◎
点字を教えること、覚えること 竹田恭子
- 15 talk to talk◎
阪神淡路大震災からの復興を考える
奥本一夫／松本昭二／鷺尾邦夫／新阜義弘
- 23 ボランティア最前線◎
社会福祉団体 歯車の会 岩井和彦
- 30 視覚障害者と射撃 北欧を訪ねてⅣ 鈴木克子
- 39 平成8年度視覚障害者大学合格者・進学者ならびに就職状況一覧
- 45 インフォメーション・コーナー

盲人用情報機器シリーズ

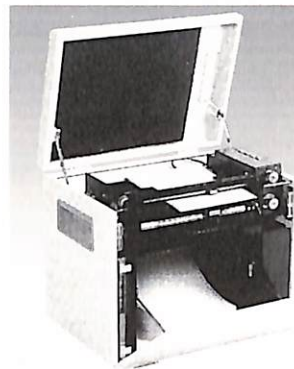
品質の良さは納入先に表れます。



ESA300Pro
点字ラインプリンタ
1ページ5秒!
最高速の業務用
点字ラインプリンタ

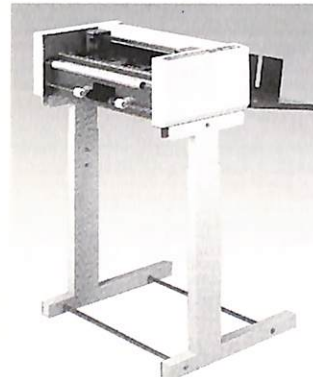
日本最高速の印刷スピードと両面印刷を実現。32マス22行をわずか5秒で打ち出し、ラインプリンタにありがちな紙のよれもなく、すばやく美しく仕上がります。

ESA721 点字プリンタ・プロッタ
点図表現も思いのまま。
定評ある高性能&多機能型



高速印字はもちろん、三点方式による点作図プロッタ機構（世界初）の搭載で、すぐれたグラフィック表現が可能。音も静かで、広くご愛用いただいています。

V-500 大量の用紙カットも、スムーズ&スピーディー



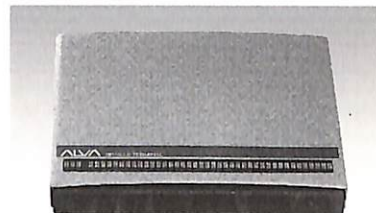
ページエンドと片耳（両耳）カット同時で1,000枚が15分で完了。操作状況が一目でわかる液晶パネル、ページとばし防止ストッカーなどかんたん操作で使いやすく、音も静かです。

PORTA-THIEL ポータ・ティール日本仕様
機の隣に一台、気軽なパーソナル・プリンタ



点字プリンタでは世界的信頼を誇るドイツ・ティール社との提携で生まれた、コンパクトサイズのパーソナルプリンタ。日本点字規格への対応はもちろん、すべて日本仕様です。

ALVA BRAILLE TERMINAL
ABT-340 (40+3キャラクター)
世界標準にアクセスできる
点字用ピンディスプレイ



MS-DOSをはじめIBM/OS2、ウィンドウズにも対応。オランダ・アルバ社特許のタッチカーソルにより、優れた操作性を実現しました。小型軽量で、ノートパソコンにも最適です。

各機器についての詳細、
その他取り扱い機器については、
弊社まで資料をご請求ください。



JTR Corporation

有限会社 ジエイ・ティー・アール
東京都板橋区前野町3-48-1

Tel.03-3967-6606 Fax.03-3969-5861

感謝と喜び——関西盲人ホーム復興



関西盲人ホーム・甲東寮は、自立した視覚障害女性を社会に送り出すことを目的として1951年に開設されました。ところが昨年1月17日の阪神・淡路大震災で全壊、再建が待たれていました。

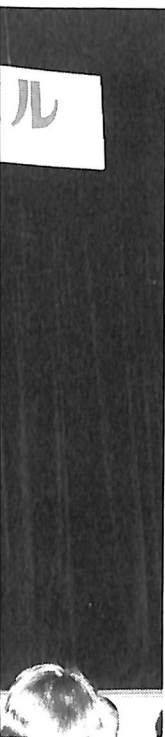
同年8月に着手した新築工事は順調に進み、今年3月26日には竣工式を終え4月から再オープンしています。完成した建物はレンガ調で、耐火・耐震構造の鉄筋2階建てです。

再建に要した費用は国庫補助金、中央競馬馬主福祉財団、キリスト教会、盲学校、視覚障害関係施設などから寄せられた寄付金が当てられました。

(写真提供：関西盲人ホーム)

ワイワイと愛EYEフェスティバル開催





ときは4年に1度しかない2月29日、ところでは東京の府中市にあるルミエール府中、「行動する日盲社協」をスローガンに掲げる日本盲人社会福祉施設協議会（日盲社協）が主催する第1回芸術文化祭“愛EYEフェスティバル”が開かれました。

広いロビーを利用した体験・展示コーナーでは、点字の体験や盲人用具、施設入所者の作品展示・即売コーナーが設けられました。夕方から行なわれた音楽の部では、ラジオのパーソナリティーも務める歌手の伊藤昭弘さん、津軽三味線の進藤正太郎さん、正秋バンドなど6組の皆さんによる熱唱・熱演が繰り広げられ、1000人あまりの入場者で賑わったとのこと。

（写真提供：日本盲人社会福祉施設協議会）

立ち読み版はここまでとなっております。

続きをお読みにになりたい場合には
社会福祉法人 視覚障害者支援総合センター
までお問い合わせください。

編集後記

点字と墨字の相互変換が比較的容易になって思いがけないところで点字の資料が提供されるようになりました。とはいえ、それらは自動点訳に依存しすぎ、点字のレイアウトやわかち書き、漢字の読みなど誤っているものが少なくありません。点字をよく知らない人が自動点訳ソフトを使ったためによると考えがちですが、必ずしもそうではありません。視覚障害者自身がソフトによる変換結果を校正しないでそのまま出してしまうこともあるようです。先日あるシンポジウムに参加しましたが、そこで提供された一発表者の点字資料もそうでした。その発表者である視覚障害者はレジュメの締め切りに間に合わず、自分で用意した資料でした。自動変換ソフトを使ったけれども時間がなかったために十分に校正できなかったとのこと。「コンピュータ導入により点字が乱れている」とよく聞きます。そこには案外、使用者である視覚障害者の姿勢が問題になっているように思います。

(立花明彦)

視 覚 障 害 1996年 5 月 No. 143

年間講読料 4,200 円 (送料とも)

発行日 1996年 5 月 1 日

編集人 立花 明彦

(連絡先) 日 本 盲 人 福 祉 研 究 会

〒167 東京都杉並区上荻 2 丁目37番10号

Kei ビル 3 階

電 話 (03) 5310-5051 (代)

FAX (03) 5310-5053

振替口座 00160-4-16103

発行人 身体障害者団体定期刊行物協会

〒157 東京都世田谷区砧 6-26-21

印刷所 合同印刷株式会社

〒130 東京都墨田区業平 2-9-13

電者 03(3624) 6111 (代表)